

## ○「生活交通確保維持改善セミナー」を開催しました（東北運輸局）

東北運輸局では、5月18日（金）に山形市において、山形県・山形県バス対策協議会との共催で、生活交通確保維持改善セミナーを開催しました。

地域公共交通の活性化に取り組む方を対象に、有識者による講演や先進的取組み事例の紹介を通じて、必要な実務的知識の向上を図ることを目的として開催し、当日は山形県内の自治体・事業者を中心に、東北各県から約70名の方にご参加いただきました。

セミナー前半では、交通企画課長より地域公共交通確保維持改善事業の説明のほか、地域公共交通マイスターの高橋正朗係長（茨城県日立市役所）と加藤博和先生（名古屋大学大学院）にご講演を頂戴しました。加藤先生の講演の中で、「各地域の成功例はあるが、単に真似するだけでは必ず失敗する。あくまで参考として、地域の実情に即したやり方が必要。」という言葉が印象的でした。

また、セミナー後半ではワークショップ形式を取り、参加者を7つのグループに分け、2つのテーマについて班別討議・発表を行い、それぞれの発表毎に加藤先生より講評をいただきました。非常に活発な議論が交わされ、自治体、事業者お互いがお互いの意見を取り入れ、地域の実情に即したベストな地域公共交通を、という強い思いを参加者全員で再認識した場となりました。

東北運輸局では、今後とも地域公共交通の課題に取り組む方々を積極的にサポートし、セミナーの開催等、自治体や事業者の皆様と共に地域公共交通を考える場を提供していきたいと考えております。



### ○生活交通確保維持改善セミナー

（平成24年5月18日（金）10:15～17:00 於：山形市保健センター3階大会議室）

#### <第1部（午前）>

講演「茨城県日立市の事例について」

茨城県日立市都市建設部公共交通政策課係長 高橋正朗 氏

説明「地域公共交通確保維持改善事業（地域内フィーダー系統確保維持事業）について」

東北運輸局企画観光部交通企画課長

#### <第2部（午後）>

講演「地域公共交通確保維持改善をどう進めるか？ー地域の、地域による、地域のための『おでかけ』手段をつくり出すためにー」

名古屋大学大学院准教授 加藤博和 氏

ワークショップ

テーマ①「住民協働の進め方（ニーズの引出し方、参画促進等）」

テーマ②「住民要望の中から真のニーズを見極め、実現に導く手法」

【東北運輸局企画観光部交通企画課】